



2022 年度 ノンバーバル・コミュニケーションワークショップ in さっぽろ 実施報告書



2023 年 6 月
公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

目 次

はじめに	1
実施概要	2
スケジュール	3
ノンバーバル・コミュニケーションワークショップを実施して 庄崎 隆志	4
ノンバーバルコミュニケーションワークショップ札幌での気づき メイミ	7
プログラム概要 生活介護事業所愛歩路	1 2
参加者の感想	1 4
プログラム概要 児童3事業所（Coco～（ここから）/li～（いいから）/まるちゃん）	1 5
参加者の感想	1 6
編集後記	2 2

はじめに

当基金では、2011 年の東日本大震災後の福島の影響のある子どもたちへの取組として、「ふくしまっこキャンプ」と題した活動を福島から関東へお招きをして、2012 年度から続けてまいりました。

2015 度は、福島県内において活動できる内容として、養護学校中心にノンバーバル（非言語）コミュニケーションワークショップと題した、子どもたち同士がよりよくコミュニケーションを図るきっかけとして、楽しみながら体験していただくために開催しました。また翌年も、福島県内の影響のある子どもが通う特別支援学校や障害者施設でワークショップを行い、地域の中で支えあいつながりを強くすることができないかという目的のもと、2 日間で 4 施設を訪問させていただきました。

2017 年度は、前年 4 月に発災した熊本地震の被災地域にある障害者団体を 3 施設訪問させていただき、併せて、同時期に開催された第 66 回全九州ろうあ者大会と協働し、研修会とアトラクションの中で、実施致しました。そして 2018 年度は、三陸沿岸各地で道路が開通され、復興の歩みを進めておられる宮城県の石巻市・女川町と北海道胆振東部地震で被災された北海道胆振及び札幌市の障害者施設を中心に実施し、2019 年度は、前年 7 月の西日本豪雨において被害にあわれた広島市の影響のある方々に対して実施致しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となってしまった千葉市の施設で実施することができました。さらに過去の被災地で開催実績のある札幌市でも実施が出来、ノンバーバル（非言語）によるコミュニケーションについての学びの場と致しました。

2023 年 6 月

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

实施概要

ナンバーバル・コミュニケーションワークショップ in さっぽろ

1. 目 的
ノンバーバル・コミュニケーションワークショップは、言葉を使わずになかなか伝わらないもどかしさを感じながら、じっくりと相手と向き合うための空間です。そこから、自分らしい伝え方、伝えられ方を学び合う場として、当基金は、2011 年度より東日本大震災等の被災地を対象として活動を実施して参りました。
今年の 9 月には、2019 年 10 月の台風 15 号等の豪雨災害により被害にあわれた千葉市の施設で実施することができ、さらに今回は過去の被災地で実績のある札幌で新たな出会いとコミュニケーションについて考える場をつくり、障害や障害のある人への理解が深まることを目的に実施致しました。
2. 日 時
2023 年 3 月 3 0 月（木）
3. 場 所
生活介護事業所愛歩路 / 栄西地区会館（北海道札幌市）
4. 主 催
公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート 基金
5. 共 催
特定非営利活動法人自立支援センター歩歩路
6. 助 成
社会福祉法人黎明会 福祉開発振興援助事業
7. ファシリテーター
庄崎隆志さん office 風の器主宰・俳優・演出家
メイミさん 漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長

～スケジュール～

3月30日

【午前の部】

- 9:10 生活介護事業所愛歩路到着
- 10:00 ワークショップ開始→理事長挨拶
拍手 / グータッチ
- 10:10 早着替え / 変身ショー
- 10:15 写真記念パフォーマンス
- 10:20 メイミパフォーマンス / 音楽パフォーマンス
- 10:30 庄崎パフォーマンス / 人形使い
- 10:45 合唱パフォーマンス
- 11:00 ワークショップ終了

【午後の部】

- 12:50 栄西地区会館到着
- 13:25 ワークショップ開始→理事長挨拶
手拍子 / グータッチ / 自己紹介
- 13:35 早着替え / 写真記念パフォーマンス
- 13:45 メイミパフォーマンス / フリーダンス
- 13:55 エアボール
- 14:00 庄崎パフォーマンス
- 14:05 エアなわとび
- 14:10 メイミパフォーマンス
- 14:15 わたしのひとりしばい「海のオーケストラ チェロ」
- 14:25 ワークショップ終了

ノンバーバル・コミュニケーションワーク ショップを実施して



庄崎 隆志

Takashi Shozaki

今回の国際障害者年記念ナイスハート基金ノンバーバルコミュニケーションは、札幌市内にある2か所でのワークショップ出張でした。

1回目は生活介護事業所愛歩路とのワークショップ。

愛歩路とは三度目のワークショップで車いすの方が半数、久々に参加してくださった方も数名、開始前はだいぶ張り詰めた緊張感が漂っていたのですが、最初は「グーでのハイタッチ」からスタートです。「カメラマン」「メイミさんの可笑しい逆立ちと変身」「ウルトラCの人形劇」などなどにチャレンジしました。特に「海のオーケストラ」をやってみました。オーケストラの真似で皆さんはとても生き生きと白熱したパフォーマンスとなり、

会場からは笑いがこぼれました。

2 回目は児童 3 事業所とのワークショップ。

幼児、小学生、中学生、高校生そして大人まで。それぞれ年齢も個性も表現方法も幅広い集まりです。ほとんどの方が「はじめまして」ということもあり、少し緊張のスタートでしたが、いざワークショップが始まると場の空気は徐々に温まり、笑顔あふれる時間となりました。

実際にはないボールをイメージしてキャッチボールを行います。子どもたちは、自分なりにボールの投げ方や受け取り方、エアボールの動きを身体全身で表現しました。次はエア縄跳び。子どもたちは目に見えない縄を一生懸命に回し、跳びます。今度は恥ずかしくて支援員にしがみつく子、年下の子どもたちを気にかけ声をかける小学生、そこは人前での初対面も年齢も言葉も障害の区別も何もありません。同じ場所で同じことに本気で取り組みました。

ふと振り返ってみると、2 カ所のワークショップはコトバができるかできないとかは全く頭になくて、自分の中から湧き上がる感情を自然とそれぞれの言葉や身振り、表情などで伝え合っていたように思います。ノンバーバルコミュニケーションの輪。仲間の輪。一人一人が繋がってできていく輪。それぞれが好きなものや好きな場所を見つけていくきっかけの輪に





なるかもしれない。それだけに、今回のノンバーバルコミュニケーションのワークショップへ取り組む中で出会うことのできた気付きや発見をしっかりと持ち帰っていただき、普段の生活の中での人との豊かな関わりへ繋がる一つのきっかけとしてもらえたら嬉しい限りです。

今後も、人と人との繋がる輪を大切にしているこの活動に継続していくことを楽しみにしています。



庄崎隆志

演出家・劇作家・舞台俳優・ノンバーバルコミュニケーター
舞台俳優・日本演出者協会会員・日本劇作家協会会員・
office風の器主宰元デフ・パペットシアター・ひとみ代表・創立メンバー（1981～2004）

1961年東京杉並区生まれ。現在淡路島在住。身体で人間を表現する「コトバ」を超えた表現者であり、劇作家、演出も手掛ける。1981年より全国各地750箇所2500ステージ、欧州、米国、アジア等14ヶ国公演を経験。『オルフェウス』『UK I Y O E』『里亞王～リア～』『真夏の夜の夢』『波無烈斗～ハムレット』等シアターX提携公演、横浜赤レンガ倉庫・俳優座劇場・横浜ランドマークタワー・前進座劇場・世田谷パブリックシアターなど演出という実績を持つ。大学、企業、文化庁の演劇大学、国際障害者年記念ナイスハート基金、日本劇作家大会などでノンバーバル演劇（非言語）ワークショップ、身体表現の講座などの活動をしている。平成22年度横浜文化賞・文化芸術奨励賞受賞。第1～9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園審査員長

ノンバーバルコミュニケーションワーク ショップ札幌での気づき

メイミ

Meimi



2022 年度、二度目となるワークショップを札幌で開催しました。

ここ数年のコロナ渦の状況を思えば、今年度は2度の開催を実現することができ、そこに至るまでの関係者の皆様のご尽力に深く感謝致します。

さて今回のワークショップでは、感染症の流行の落ち着きもあり、前回よりももう一歩踏み込んだコミュニケーションの形を実践することができました。

これまでは相手との距離感など気にしながら、そこにもどかしさを感じながら試行錯誤したのですが、体調管理、マスクと手指の消毒という基本の感染症予防を行いながら、



プログラムの内容によっては、相手の体温の温かさを感じられる程の距離でコミュニケーションを取る場面もありました。

午前午後と2回のワークショップの中で、印象深い出来事をいくつかご紹介したいと思います。

「何が始まるの？ファシリテーターの私もドキドキワクワク」

午前のワークショップでは、そんな気持ちで心と体を動かしました。

今回もファシリテーターをご一緒した庄崎さんとは、いつもながら事前の打ち合わせは簡単に「参加者の様子に合わせてその場で何をするか考えます」というのが庄崎さんのスタイルです。午前のプログラムでは、特に庄崎さんの閃きが素晴らしく、今まで見たことのないコミュニケーションの形が生まれました。

手指を使ったノンバーバルパフォーマンス「海」の世界を、参加者5～6人で円になり行いました。それぞれに表現することで、その空間には神秘的な海の世界が出現しました。



「ノンバーバルを言語化！？」

ご参加いただいているある施設スタッフ様が、ワークショップを見ながら「〇〇してるんだね」「こうなってこうなって、わあ！こんなことになってるね！」などと言語化しながらリアクションしてくださっていました。

それがまるでノンバーバル語を言語にする通訳者のようで、ノンバーバルとは非言語（言葉ではない）コミュニケーションという意味ですが、何だかノンバーバルというものの自体が一つの言語のように感じました。

言葉には言い表せられない気持ちを表現し伝え合えるのがノンバーバルコミュニケーションです。音声言語以上の可能性を秘めた「非言語」という最強の言語と言えるかもしれません。



「静と動のコミュニケーション」

午後のワークショップでは児童施設の皆さんを対象に実施しました。

下は2～3歳のお子様から10代のパワー溢れる子供たちが参加しました。

おなじみのエアーキャッチボールや縄跳び、そしてダンスをしたり、体を存分に動かすパワ



フルなプログラムが盛り沢山でした。

スポーツを通じたコミュニケーションというものもありますが、やはり一緒に体を動かして楽しむというのは心を通わすには有効手段であると改めて感じます。



そんな中、普段とは違う賑やかな雰囲気戸惑い不安げな方が居ました。

その方とのコミュニケーションの場面では、ゆったり穏やかなアプローチをしているもののとても不安そうです。安心して大丈夫だよとそっと背中に手を当てました。

不安な気持ちはなかなか拭えずにワークショップは終了したのですが、今後、静のコミュ



ニケーションの形もまだまだ模索する余地がありそうだと感じる出来事でした。

参加者それぞれのペースや心身の状態、性格など、個々の状況もまちまちです。相手に合わせたコミュニケーションの方法、場面に合わせた静と動のコミュニケーションの使い分け、更なる可能性を感じるワークショップでした。

メイミ

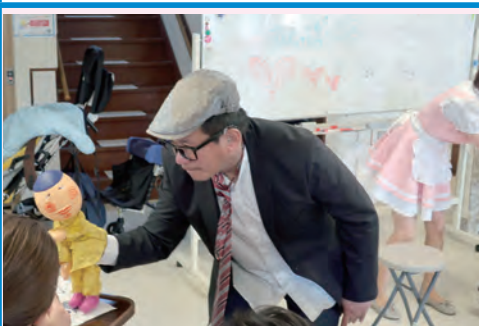
漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長。港区登録手話通訳者。

都内デイサービスセンター勤務の経験を活かし、全国各地の福祉大会や学校、介護セミナー、一般向けのイベント等、幅広い場で講演活動を行なう一方、NPO法人を立ち上げ、芸人・歌手・パフォーマー等各分野のエンターティナーの協力を得ながら高齢者施設、障害者施設、福祉イベント等での催しを開催。自身も演芸の舞台に立ち、介護福祉のリアルを漫談で伝えている。更に、港区登録手話通訳者 手話パフォーマンス、障害者スポーツ大会での司会やパフォーマンス、養護学校でのワークショップ講師等、障害者福祉との関わりも深い。モットーは「笑って長生き」「笑顔は副作用のない魔法のお薬」



プログラム概要

生活介護事業所愛歩路 3月30日(木)

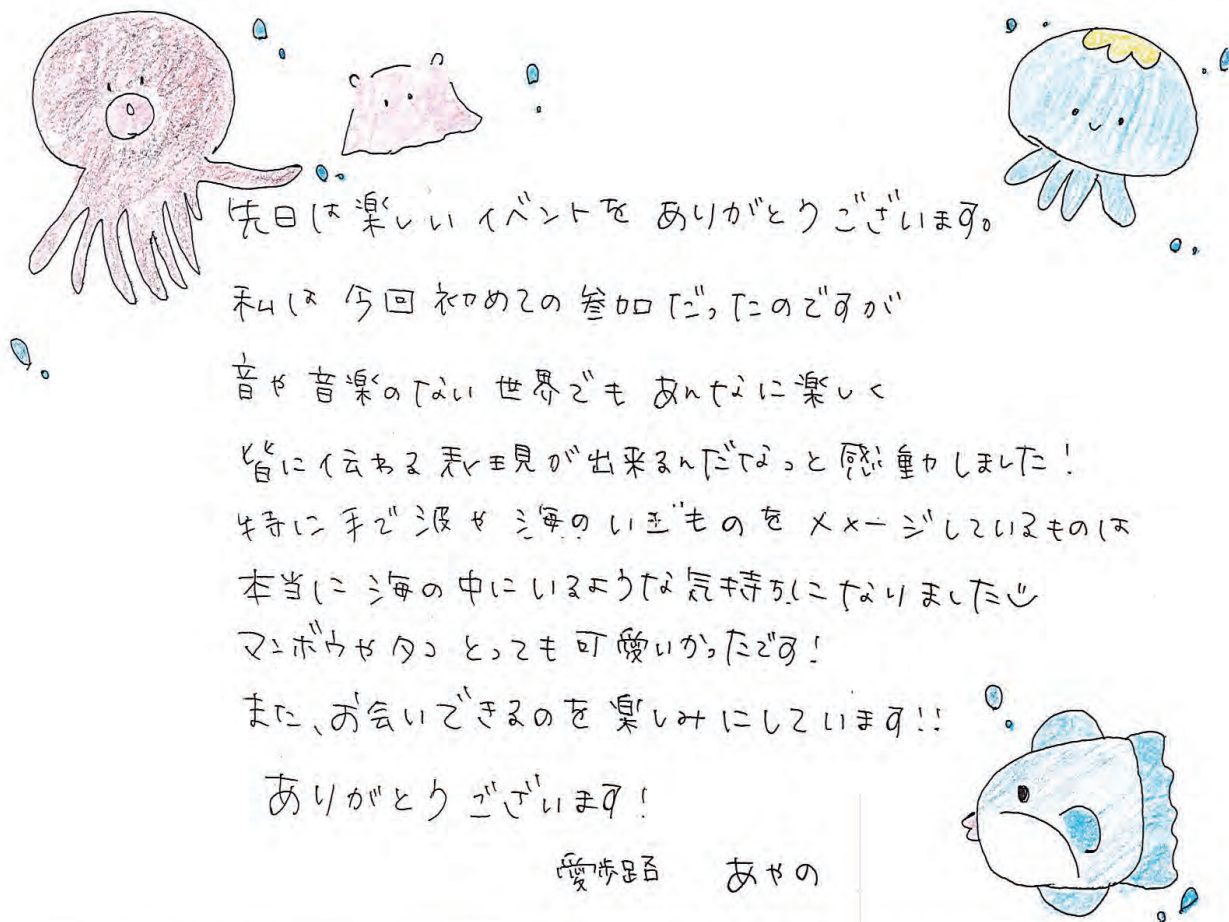
時間	プログラム	写真
10:00～	ワークショップ開始 理事長挨拶 拍手 / グータッチ	
10:10～	早着替え 変身ショー	
10:15～	写真記念パフォーマンス メイミパフォーマンス 音楽パフォーマンス	
10:30～	庄崎パフォーマンス 人形使い	
10:45～	合唱パフォーマンス	
11:00	ワークショップ終了 【参加者合計24名】	

この度は、お忙しい中、愛歩路に来ていただき、有難うございます。
今回、2回目という事で、コロナの関係で、間は空いてしまいましたが、前回参加された利用者さまスタッフも庄崎さん、メイミさんの顔を見て思い出したと思います。
早着替えの場面では、利用者様も積極的に参加され、普段の生活では見れないような笑顔も見られ、言葉が無くても、楽しむことが出来るんだと、再認識できたワークショップになりました。前回もみて思ったことですが、ノンバーバルコミュニケーションの素晴らしさ、非言語コミュニケーションの大切さを実感し、大変勉強になりました。
コロナの関係で施設イベントが減少する中で、ワークショップを企画してくださった国際障害者年記念ナイスハート基金の皆様、庄崎 隆志様、メイミ様、ありがとうございました。
愛歩路 今野 賢多朗

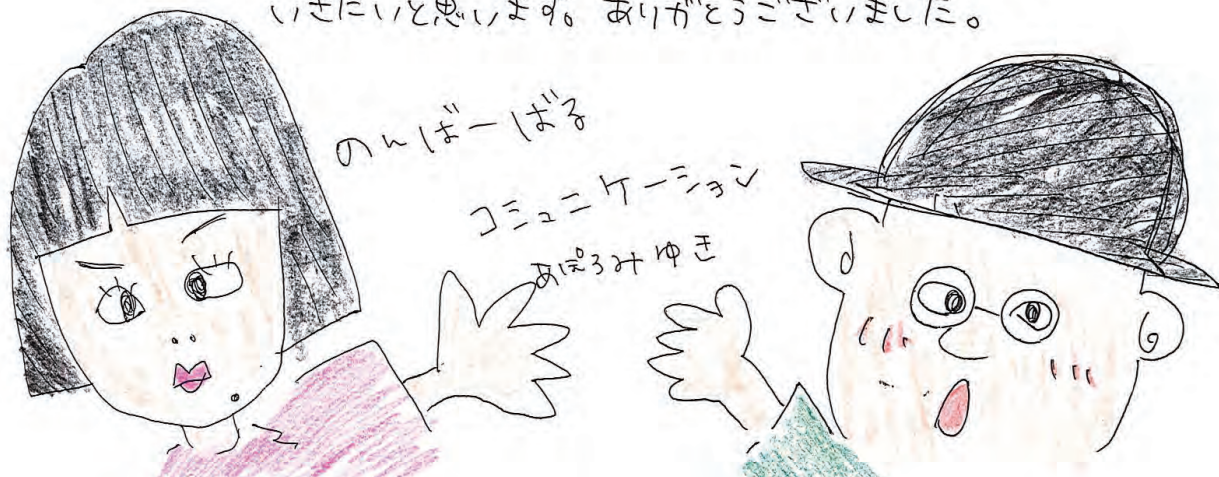
ノンバーバルコミュニケーションワークショップの開催ありがとうございました。
はじめは緊張していた利用者さんも、庄崎さんやメイミさんの楽しい動きや表情にどんどん引き込まれ途中からは笑顔が沢山！参加したスタッフも一緒に大笑いで大盛況でした！
メイミさんの三転倒立にもびっくり！庄崎さんのそれぞれの利用者さんの特徴をとらえて上手に誘導してくださるスムーズさ流石でした！
言葉がなくてもコミュニケーションや笑顔を引き出す事が出来ると楽しく学ばせていただきました。
これからも素敵な活動を応援しています！

愛歩路 有田





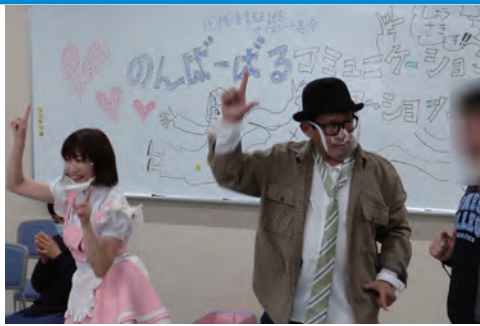
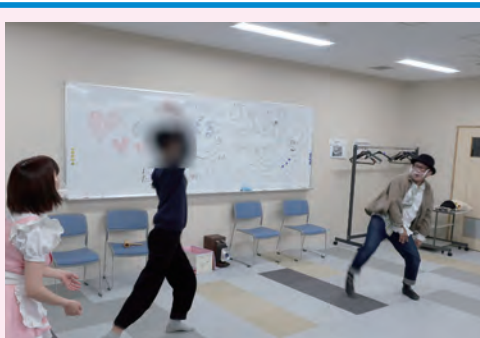
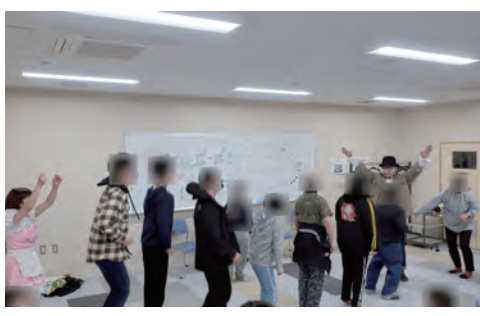
丁度4年前にも拝見させていただきました。
 メイミさんの早着替えや庄崎さんのパフォーマンス、
 汽車ゴ、こなど、改めて楽しい要素がたっぷりて
 ちくちくが止まりませんでした。
 今後の支援にも活かせるよう日々勉強をして
 いきたいと思います。ありがとうございました。



プログラム概要 【児童3事業所】

・Coco～(ここから)/ ・li～(いいから)/・まるちゃん

3月30日(木)

時間	プログラム	写真
13:25～	ワークショップ開始 理事長挨拶 手拍子/グータッチ/自己紹介	
13:35～	早着替え 写真記念パフォーマンス	
13:45～	メイミパフォーマンス フリーダンス	
13:55～	エアボール 庄崎パフォーマンス	
14:05～	エアなわとび メイミパフォーマンス わたしのひとりしばい 「海のオーケストラ チェロ」	
14:20	ワークショップ終了 【参加者合計35名】	

参加者の感想【児童3事業所】

・Coco～（ここから） / ・li～（いいから） / ・まるちゃん

3月30日（木）



楽しい時間を
ありがとうございました！
また来ていただけると
とても嬉しいです ♪
児童福祉すび Coco～

参加者の感想【児童3事業所】

・Coco～（ここから） / ・li～（いいから） / ・まるちゃん

3月30日（木）



参加者の感想【児童3事業所】

・Coco～（ここから） / ・li～（いいから） / ・まるちゃん

3月30日（木）



参加者の感想【児童3事業所】

・Coco～（ここから） / ・li～（いいから） / ・まるちゃん

3月30日（木）



参加者の感想【児童3事業所】

・Coco～（ここから） / ・li～（いいから） / ・まるちゃん

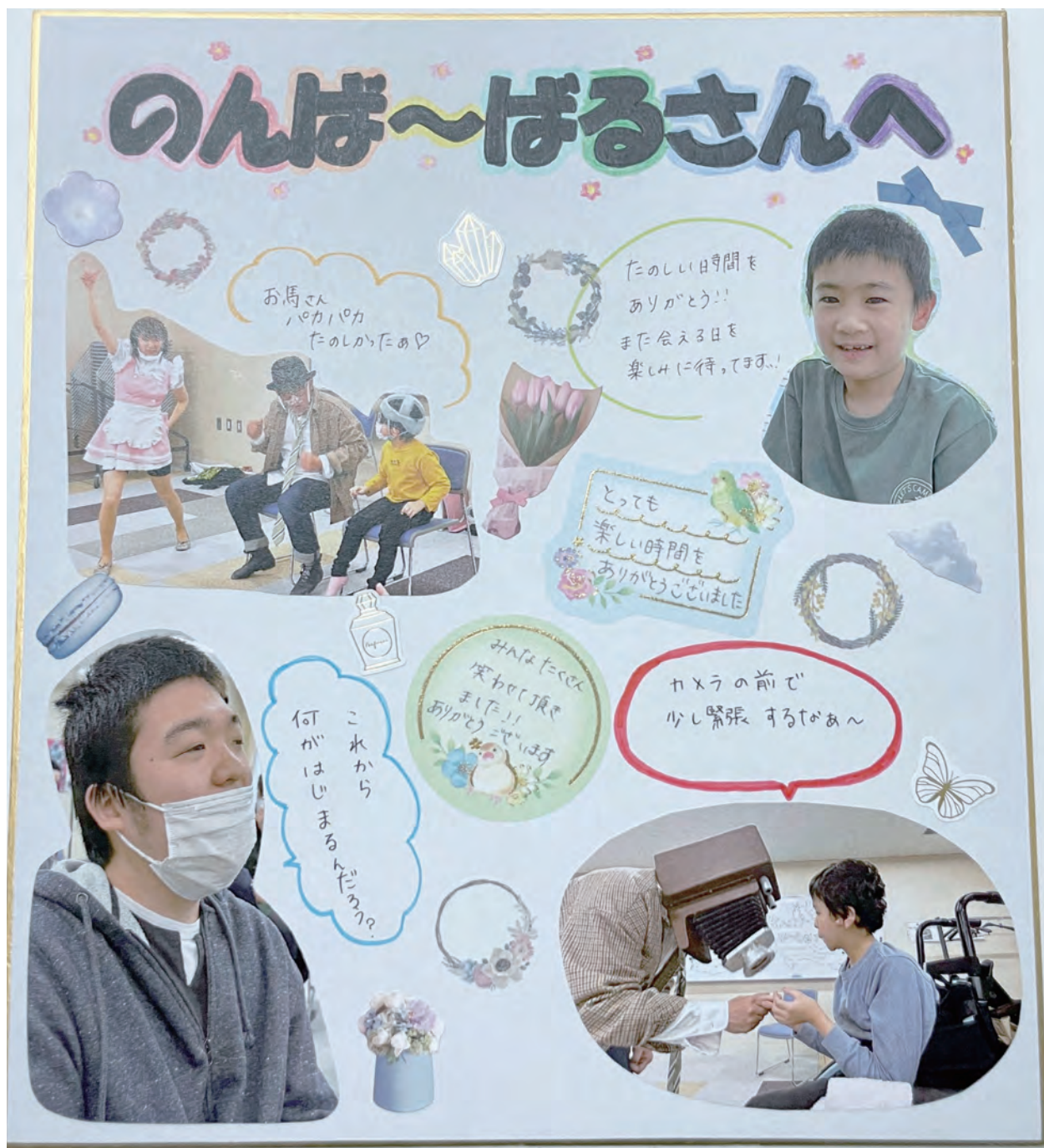
3月30日（木）



参加者の感想【児童3事業所】

・Coco～（ここから） / ・li～（いいから） / ・まるちゃん

3月30日（木）



編集後記

まさに年度末となりましたが、今年度2回目の開催へところぎつけることが出来ました。そして、以前開催させて頂いた施設ということもあり、数年ぶりの邂逅を果たすことができたという印象を率直に感じています。

昨年12月に一度実施しているので、庄崎隆志さんとメイミさんお二人のファシリテーターの息もぴったり・・・だったかといえそうでもなく、むしろ予定調和に進まないことの方が、このノンバーバル・コミュニケーションワークショップの魅力を存分に発揮できている節さえ感じてしまう滑り出しでした。

写真記念のパフォーマンスでは、写真を取りたい参加者に挙手をしていただきますが、挙手した参加者は、写真よりもトイレに向かって歩き出し、想定外の行動が、その場に安心感と笑いを生み出していました。

午後の部は児童が中心であったため、合唱やふりつけダンスは、エネルギーに何かを訴えているような気概を感じ取ることが出来ました。言葉なしのコミュニケーションのパワーを最も味わった瞬間の連続だった気がします。

マスク越しでもマスク無しの生活に戻っても、ノンバーバル（非言語）によるコミュニケーションの大切さに変わりがないと信じて、このワークショップに関わってくださった全ての関係者の皆様に御礼申し上げます。

(公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金 高倉 和樹)

2022 年度ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップ
実施報告書

2023 年 6 月発行

発行元 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金